

APEV2015年度振り返りと 2016年度事業計画



APEV

Association for the Promotion of Electric Vehicles

一般社団法人電気自動車普及協会 事務局

2016.2.10

1.2015年度総括 (1)会員数の推移



<会員数の推移>

	2015年2月末日	2016年1月
正会員	85社	90社
特別会員	69団体	123団体
賛助会員	38人	46人
合計	192会員	259会員

1.2015年度総括（2）活動面の総括



<2015年度 APEVの主な活動>

4月1日～11月 国際学生EV超小型モビリティデザインコンテスト
2015：東京モーターショーにて入賞作品展示と表彰式

6月12日 定時社員総会、経済産業省の講演：
「次世代自動車普及に向けた経済産業省の取組」

6月 TEAM APEV パイクスピークEVチャレンジに参加

7月～9月上旬 「大地の芸術祭2015」でのEVシェアリング企画等を
サポート

9月30日～10月2日 EVEX（EV/PHV普及活用技術展）出展：
* APEVパビリオンで実車及びポスター展示
* シンポジウム：EVの本格普及への道と“つながるクルマ”・IoT技術との将来

12月4日 会員向け会合「G7(主要国首脳会議)三重県・長野県
でのAPEV会員連動企画について」

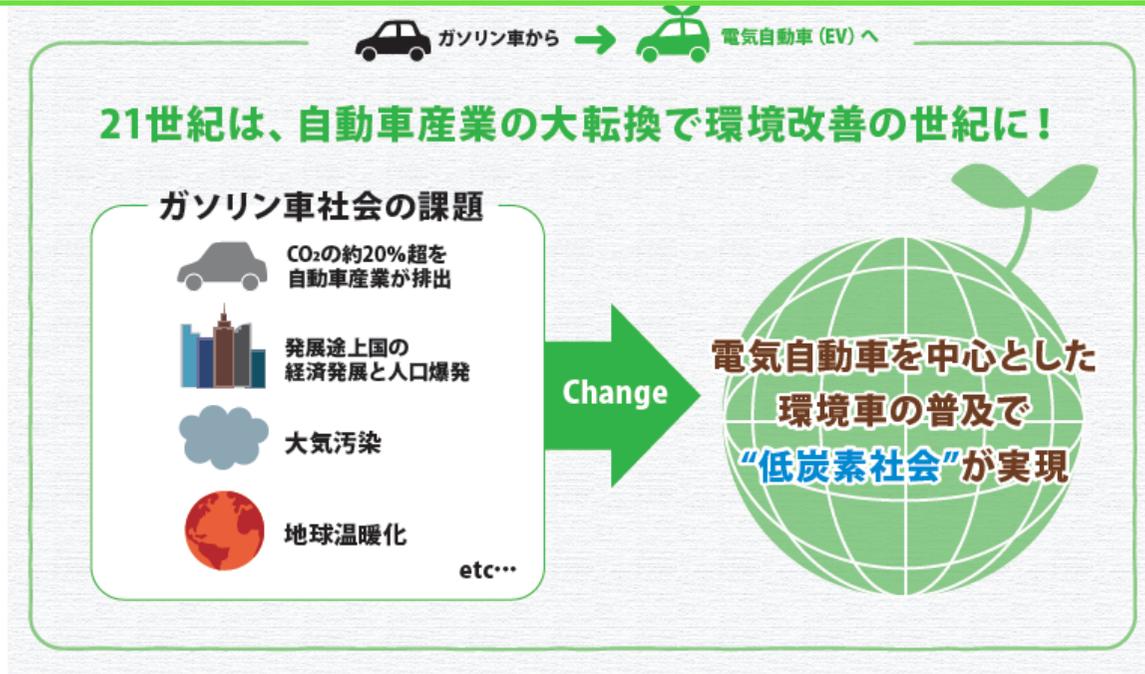
3.協会ビジョン (再確認)



* 「電気自動車普及協会 定款」より

当協会の目的

- 第4条 当協会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
 - (一) 電気自動車の普及と事業化推進のための調査・研究
 - (二) 協会参加会員の電気自動車関連事業支援
 - (三) 国内外の関連団体や企業・機関との連絡窓口
 - (四) 電気自動車の普及と事業化推進のための政策提言や国・行政、その他関係機関への働きかけ
 - (五) 電気自動車事業化推進のための技術・品質・安全の向上や標準化の推進
 - (六) 電気自動車事業化推進のための人材育成
 - (七) 電気自動車普及と事業化推進のための社会環境、市場環境の醸成
 - (八) その他前各号に附帯関連する、協会の目的を達成するために必要な一切の事業



4.2016年度活動方針



2015年度総括とAPEV(協議会時代) 発足当時からの活動ビジョンを踏まえて、2016年度活動方針を下記4項目に定める。

- A) 会員の自発的かつ積極的な活動の促進
- B) 他の団体との協力強化
(官公庁、自治体、自工会etc…)
- C) 海外も含めた、一般に対するEVの価値等PRの強化
- D) 2020年東京オリンピックでのEVを活用した街づくり (グランドデザイン提案)

5.活動項目



前頁のAPEV活動方針に従い、2016年度の活動項目を下記6項目に定める。

- (1) 委員会活動
- (2) 政策提言
- (3) 情報提供・広報・会員コミュニケーション
- (4) 第三回国際学生EVデザインコンテスト
- (5) TEAM APEVパイクスピーク実行委員会
- (6) 海外EV組織& 学術機関等外部団体との連携

6.活動項目-(1)委員会活動



<概要>

- 活動項目(2)の政策提言とも絡む、「EV普及事業推進委員会」を2016年より新たに立ち上げる。国内外のEV産業に関わる企業と自治体・官庁との連携によるモデル事業を作り、一般のクルマのユーザーに対する電気駆動車両（FCV・PHV・EV等）の普及啓蒙活動に貢献する
- 「EV普及事業推進委員会」に参加しない会員にも、講演会の実施や他企業へのビジネスマッチングの機会を提供することで、会員としての参加メリットを享受できるようにする

<スケジュール・運用>

- 講演会（会員であれば誰でも参加可能）は年4回開催
- 案）6月、9月、12月、3月

組織 EV普及事業推進委員会）委員長：田嶋代表理事、副委員長：井原アドバイザー
事務局長：田中 事務局：安嶋、唐鎌

* 期中で別テーマの委員会発足等がある場合は、別途理事会で組織体制や予算等の審議を行う。

6.活動項目-(2)政策提言



<概要>

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、会員である全国の自治体や企業等の声を吸い上げ、FCV・PHV・EV等電気駆動車両の普及、及びインフラ整備の為の政策を提言する
- その地域ならではの観光資源を最大限生かせるタイミング = 大きなイベント開催時等に電気駆動車両を活用した観光振興事業を検討・実施し、新たな交流人口を生み出すモデル事業を創出することで、地域活性と地元企業の事業機会拡大に貢献する

<運用体制・内容等>

□ 内容

- 経産省、国交省、環境省等と特別会員(自治体・メディア等) や正会員、賛助会員等と連携し、まずは2016年開催されるG7首脳会議や交通大臣会合でのデモ走行や講演会等を実施
- 瀬戸内地域で行われる「瀬戸内国際芸術祭2016」においても、アートEV展示や、宿泊施設でのEV充電器設置による宿泊客の二次交通の利便性向上等の活動を支援し、EV普及・啓蒙活動の推進に貢献

- 組織 横川会長、田嶋代表理事、草加理事、井原アドバイザー、星顧問
事務局 田中・安嶋・唐鎌

6.活動項目-(3)APEVからの情報提供・広報・ 会員コミュニケーション



<概要>

- EVニュースコンテンツの充実
 - ✓情報ソースの拡充（有料サイト、市販データ等）
 - ✓ニュースの深掘り
- 各国のEV普及環境調査（会員への情報提供）
- 有料コンサルティング活動の提供（2016年1月に実績あり）
- マッチングの個別対応の充実（新規会員の入会勧誘も視野に入れながら）

<スケジュール・運用&組織体制>

調査関連以外は現状を維持する。

各国EV普及環境調査

まずはASEAN各国の事業性について、順次調査を行い、会員等情報を共有する。体制から検討。現状では以下の2種類が候補となる。

- 1) 会員を中心とした委員会体制の構築
 - 中心的な企業とともに。
- 2) 中小企業庁関連等の補助事業申請
 - 経産省、環境省とヒアリングの結果。

6.活動項目-(4)EVデザインコンテスト



<概要>

- 2017年秋に東京ビッグサイトで行われる第45回東京モーターショーで第3回のEVデザインコンテストの表彰式を行い、作品のポスター等を展示する
- 2016年度は上記に向けての準備期間と捉え、カーデザインワークショップ・都市デザイン考察等を行うイベントを企画する
- これらのイベントを「コンテストをPRする機会」とし、参加チームと協賛団体を増やす活動を行う

<組織体制・スケジュール>

◆ 組織体制

主催はAPEVのままとし、コンテスト実行委員会を立ち上げて企画内容を見直し。前回以上の協賛団体及び参加チームを募る。国内外向けPRも含め事務局体制を強化する。

委員長：有馬仁志理事、副委員長：山下敏男アドバイザー、事務局長：安嶋
(期中で正式設立予定)

◆ 2016年度スケジュール

- 2016年前半：コンテスト実行委員会の体制と概要を発表し、協賛募集開始
- 同7月：2017年度第3回EVデザインコンテストの参加チーム募集要項発表
- 同8月：カーデザインワークショップ
- 同10月：海外の大学で新学期のカリキュラムに当コンテストを組み込んで頂く
- 2017年3月：第3回EVデザインコンテスト参加チーム募集開始

6.活動項目-(5)TEAM APEV



<概要>

- 地球環境の保全と持続可能な社会の実現のために、電気自動車の普及促進を目指し、「パイクスピークEVチャレンジ実行委員会」を組織する
- 2016年6月にアメリカ・コロラド州で開催されるパイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムに「Team APEV with モンスタースポーツ」としてEVで参戦。EVの性能の高さのアピールと、APEVの世界的な知名度向上ならびにEVの普及促進のための国際的ネットワーク作りを目指して参加する。

スケジュール案

- 記者発表会 2016年3月
- 車体お披露目会 5月
- パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムレース開催 6月

(レース終了後)

- 夏休みのお子さん向けイベント
- レース参戦カー凱旋イベント など

組織：「パイクスピークEVチャレンジ実行委員会」

実行委員長…福武名誉会長

実行委員 …田嶋代表理事、草加理事、藤原理事、鈴木理事

事務局長 …石倉智之

事務局員 …椎木、田中

6.活動項目-(6)海外EV組織 & 学術連携



<概要>

- 既存の海外団体である「Drive Electric(NZ)」「APEV ドイツ」とは、引き続き情報連携を進めていく。
- ハワイ州やASEAN地域、韓国チェジュ島など、新たなEVイベント・企画が模索されている国について、調査後に連携内容を検討する。
- 工学部・情報学環など、ご縁のある東大組織との連携研究を検討する。
- 引き続き、立命館大学経営学部のEV講義に協力する。

<スケジュール・運用 & 組織体制>

2016年3月 韓国チェジュ島EV EXPO協力
8月 立命館大学経営学部講義協力
9月 ハワイ州WCC EVイベント協力

- 担当理事 田嶋代表理事
- 担当事務局員 椎木事務局長
- 関係団体 Drive Electric APEVドイツ
ハワイ州
チェジュEV EXPO 東京大学工学部 情報学環
立命館大学経営学部

7.APEV全体の体制

* 敬称略



- ・ 名誉会長：福武 総一郎
- ・ 会 長：横川 浩
- ・ 代表理事：田嶋 伸博
- ・ 理 事：有馬 仁志、草加 浩平、佐藤 員暢、鈴木 高宏、藤原 洋、
山下敏男
- ・ 顧 問：星 久人
- ・ 監 事：佐藤 祐作
- ・ アドバイザー：井原 慶子、奥山 清行、河口 洋一郎、館内 端、
村沢 義久

(以上50音順)

【事務局】

- ・ 事務局長：椎木 衛
- ・ 事務局次長：田中 郁子
- ・ 主席研究員：唐鎌 圭彦
- ・ 上席研究員：安嶋 言一郎
- ・ 事務局：(兼任) 高橋 洋平、安嶋 浩